

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションに関する申し入れ」 第一次説明要求交渉Q&A⑨

45、駅配属の中途採用社員も新たなジョブローテーションの対象とした理由を明らかにすること。

《回答》駅から運転士までの一律的なキャリアステップを見直し、挑戦しやすい柔軟なジョブローテーションとなるため、今後は、新卒、中途採用を問わず多様なキャリアの中で駅業務や乗務員の業務を担っていくことになる。
会社：新卒、中途採用を問わず多様なキャリアの中で駅業務や乗務員の業務を担っていくこととなる。要員需給もあり、今までの経験を活かすことは支社への異動等であったが、乗務員希望の声もあったことから、さらに様々な可能性を広げていくためであり対象とした。

46、「入社2年目から3年目かけて今後のキャリアについて意見交換をする面談」とあるが、それ以外の社員のキャリアについて意見交換をする面談を行わない理由を明らかにすること。

《回答》入社2年目から3年目にかけて、各自の将来希望を実現するために必要な業務経験などについて意見交換を行うことを予定している。入社3年目以降も、自己申告書の面談などを通じて、社員のキャリアも含め様々な意見交換を行うことを想定している。
会社：入社2年目から3年目にかけて、各自の将来希望を実現するために必要な業務経験などについて意見交換を行うことを予定している。入社3年目以降も、自己申告書の面談などを通じて、社員のキャリアも含め様々な意見交換を行うことを想定している。
組合：入社2年目から3年目の社員以外の面談は、自己申告書によるものしかないのか。また、なぜ現場での面談しか行わないのか。
会社：入社2年目から3年目の社員については、駅職場か、乗務員職か選択をする分かれ道であるため、丁寧に今後のキャリアについて支社の担当者が行うことを想定して、面談を行うようにした。面談の時期については、今までの車掌試験の時期に行う。3年目以降の社員については、自己申告書による面談で、区所でのみとなる。

47、「今後のキャリアについて意見交換をする面談」は誰が行うのか明らかにすること。

《回答》支社担当者が行うことを想定している。
会社：支社担当者が行う。

48、新幹線統括本部に所属する社員は新幹線統括本部内でのジョブローテーションはあるのか明らかにすること。

《回答》新幹線統括本部内での異動や担務変更はあると考えている。
会社：新幹線統括本部内での異動や担務変更あると考えている。新潟新幹線運輸区から仙台新幹線運輸区への異動や、本社（統括本部）や総合指令所もありえる。
組合：上野第二運転所は東北線新幹線を担当しているが、例えば仙台運輸区に異動になった場合、東北新幹線で同一線区を担当することになるが、同一線区でありジョブローテーションになるのか。
会社：エリアが違い、同一線区以外の担当線区もあるためジョブローテーションとなる。